

令和7年度 第1回瑞浪市市之瀬廣太記念美術館協議会 会議録

日 時：令和7年5月16日（金）11時～12時

会 場：瑞浪市化石博物館レクチャールーム

出席者 <協議会委員> 小栗 茂 （学識経験のある者）
島村 節男（学識経験のある者）
柴田 増三（社会教育関係者）
加納 礼爾（学校教育関係者）

<事務局> 水野 義康（館長）・安藤 佑介

欠席者 <協議会委員> 早川 美幸（家庭教育の向上に資する活動を行う者）

1 あいさつ

館長より開会の挨拶がなされた（内容は省略）。

2 報告事項

令和6年度事業報告について

1）普及活動の充実

・①企画展の開催

委 員：学校との連携展示会は、学芸員の指導が直接受けられたことにより、子どもたちにとって良い社会勉強になった。今後も継続して実施していきたい。

事務局：今後も明世小学校とはふるさと学習やキャリア教育の機会として連携していきたいと考える。

委 員：明世小学校以外の学校との連携を行う予定はあるのか。

事務局：明世小学校から美術館までは徒歩で行ける距離のため、連携を行っているが、他の学校は遠方のため難しいと考える。

委 員：展示会は難しいと思うが出前授業などの機会を作ってほしい。

事務局：今後呼びかけを行っていきたい。

3 協議事項

令和7年度事業計画について

1）普及活動の充実

・①企画展の開催

委 員：企画展の開催期間が3日しかないのはなぜか。

事務局：財政的な制約による。

委 員：既存のブロンズ作品は残すのか。

事務局：現時点ではわからないが、プロジェクションマッピングの妨げにならないようであれば展示室に残したい。

・②講座の開催

委 員：講座の難易度はどの程度か。子ども向けか。

事務局：2つの講座とも小学生以上を対象としている。彫刻講座は1日で行うため、難易度が高いと思われる。ガラス絵講座は低学年でも参加できると思われる。

4 報告事項

文化施設の再編について

委 員：新博物館になっても学校との連携が続いてほしいため、視察の時に学校との連携をどのように継続しているのかを聞いてほしい。

事務局：承知した。